

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	当院における子宮頸癌術後再発リスクについて FIGO2018 進行期再分類による検討
	研究目的	子宮頸癌で手術療法(広汎子宮全摘術)を施行した場合、術後の病理診断により再発リスクを高・中・低の3つに分類し、その後の追加治療を決定します。しかし、特に再発中リスクの場合のリスク因子やその後の追加治療として何を選択すべきかについては、未だに見解が定まらないのが現状です。当院で子宮頸癌に対して手術療法を施行した方を対象とし、新臨床進行期分類に則ったリスク因子と追加治療・その後の予後について検討します。
	研究対象者	当院で 2011 年 1 月から 2016 年 12 月までの期間に子宮頸癌の診断で、広汎子宮全摘術を受けた患者様。
	研究期間	西 暦 2 0 2 2 年 3 月 7 日 ~ 西 暦 2 0 2 3 年 3 月 3 1 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input type="checkbox"/> その他 (記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター研 究責任者	加藤 久盛
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	婦人科
	共同研究の場合、共同研 究機関および各施設で の研究責任者	なし